

CCBA® 合格体験記

大塚 有希子

(受験勉強)

受験1ヶ月前に FXLI 研修を受講し、勉強を開始しました。概要だけはつかんでおこうと、BABOK®を参考に各インプットとアウトプットを自分の理解できる範囲で簡単に図式化(Excel)して予習したのは、講習受講に役立ちました。図式化する時にわからなかった疑問点を質問したり、講義が全体の中のどの部分なのか把握しやすかったり、どこが(試験的に)重要かそうでないか、理解しやすかったからです。

受験勉強は「暗記」「理解」「力試し」の3本立てです。講師の先生に教わった箇所のうち、重要そう(理解しやすそう)な箇所を中心に「暗記」から始めました。

次に自分で作った全体流れ図に書き込みながら、「理解」を進めました。そして問題を解くことで「力試し」をし、間違ったところについて、暗記や理解を追加していきました。それらを平行して繰り返しました。すると、講師の先生のおっしゃった箇所で難しかったところもだんだん分かるようになってきました。

「力試し」では、当初は初見の問題で30%位の正答率でしたが、間違えた問題を繰り返すことにより、50%、60%、70%と正答率が上がってきました。ただし、どうしても理解できない問題はあっても仕方がないとあきらめ、それ以上は繰り返さず新しい問題にチャレンジしました。

最終的には、初見の問題で合格ラインと考えていた正答率65~70%を達成することができるようになりました。150問の模擬試験でも、確実な問題100問、全く手に負えない問題20問、4択中2択まで絞り込める問題60問であれば、100問(正答率66%)は正答できると考え、解けない問題はあるという前提で、確実な問題を増やしていくよう学習しました。

(参考書と問題集)

いくつか参考書はあるようですが、やはり基本になるのはBABOK®で、解説本だけでは合格は難しいと思います。ただしBABOK®の書き方は堅苦しいので、自分で重要な部分を流れ図と共にまとめたExcelを自分用解説本としました。他の参考書は、自分の実力を確認するための問題練習用として利用しました。講習の時にもらった模擬試験は、実力確認に役立ちました。

(受験当日)

休憩はとりにくい雰囲気でしたが、長丁場の試験なので、途中で気分転換した方が集中力が復活すると思います。